

星屑

March
VOL. 216

—ねこ座—

天文学者ラランドの愛猫を星座にしたもの。

あまりにも私的だったために

ウミヘビ（座）に食べられてしまったとか？

ウミヘビ座と、羅針盤座の間にいるネコ君、

捜してあげてみませんか？



天文台の引越し

安達智子

2月6日、10時過ぎに天文台に行くと艶島さんと山口さんが望遠鏡の分解を始めていました。今日は望遠鏡の引越しです。暖かい強い風が吹いていて2、3日前までの寒さが嘘のようです。春一番でした。中尾さん、高田さん、渡辺先生、町田さんと次々に到着して引越し準備が本格的に始まりました。

陽の光でみる望遠鏡は所々ほこりがたまって汚っていましたが拭いてやるとずいぶんきれいになりました。「少々のへこみに目をつぶれば新品のようだ。なんだか惜しいですね」と誰かがいいました。

コントロールパネル、発振回路、バランスウェート、鏡筒、赤緯体、極軸を含む本体、ベースプレートに分解しコントロールパネルと発振回路以外にはクレーンで吊り下げられるようにワイヤーや金具を取り付けました。



ワイヤーを取り付ける艶島さんの手つきがとてもあざやかだったので私はびっくりしました。とても慣れているようでした。鏡筒や赤緯体は見た目よりもずいぶん重かったようで（私は見ていただけ）何人かで注意しながら「ヨッコラショ」とはすしました。仕事をしている写真がなかなかない人は証拠写真もとりました。

「あれっ、誰だろう？」と思ってみるとお客様でした。「場所を確認にきました」と言われます。「ここは今日引越しで塙原に移りますよ」と言うとびっくりされましたがすこし手伝ってくれました。

「今度は誰だろう」と思っていると熊日の記者の方でした。「この取材は今日が最後ですね。」と言われながらちょうどやって来られた宮本台長を交えて取材が始まりました。

メンバーがよかったです。望遠鏡の引越し準備は11時半には終わり昼食にしました。

午後1時半、クレーン車が到着しました。11年前にみんなで階段を一生懸命持って上がった望遠鏡はあっという間に中島先生が運転するトラックにのせられ新天文台に運ばれました。

今度はミーティングルームとコンピュータールームの片付けです。今夜は天文台お別れ会だし本格的な引越しは11日、13日、14日と聞いていたので食器と冷



蔵庫の中身以外を軽い気持ちで整理をかねてダンボール箱に詰めはじめました。

昔の“天文ガイド”や“天文と気象”といった天文雑誌からどうしてこんなのがあるのだろうと思うような雑誌（でもめくってみると熊本県民天文台が載っていたりするのでうかつには捨てられないものもあった）、とてももう使えないボロボロのこたつ布団、「これ何？だれの？」と思わず言いたくなるようなガラクタ、私物の数々…。

天文台11年の歴史と言えばきこえはいいけれど財産がガラクタの山では困ります。みんな思い切って処分しました。

皆さん、新天文台には変な私物を持ち込まないようにしましょう。

詰め込んだ荷物や棚は借りてきたトラックで数回に分けて新天文台の倉庫に運びました。入手がたくさんだったので（20人くらいはいました）作業はどんどん進みました。

どうなることかと思われた荷造りもだいたいメドがつき何となくホッとしていたところ突然「冷蔵庫も食器も全部荷造りして」といわれました。「あれっ？ 今夜はここでお別れ会しようって…」予定が変わったようでした。

用意していたダンボール箱はもうなくなつたので、あわてて城南町のスーパーにもらいに行き古新聞もいただきせっせと食器を包んでつめこみました。冷蔵庫も霜取りをすることもできず中身を出すとすぐに持つて行きました。

「8日のトーク アバウトのためにカップくらいは出しておこうか」と言う声もありましたが、「全部と言うのだからぜんぶ入れてしまおう」といって全部まとめました。

6時過ぎ、だいたいの作業が終わり夕食にしました。

以前この辺にはお弁当屋さんがなく買い出しが大変でした。今では弁当、惣菜コーナーを持つ大きなマーケットがいくつか出来てその点ずいぶん楽になったと思います。

こうして、望遠鏡の引越しから天文台の引越しになつた一日は終わりました。

本当はこの日に処分品を燃やすはずだったのですが風が強かったのでやめました。翌日何人かが燃やして下さったそうです。

竣工!

熊本県民天文台 塙原観測所

昨年の9月から城南町塙原古墳内に建設が進められていた、わたしたちの新しい天文台が2月19日無事完成しました。現在望遠鏡の搬入及び藤山天文台からの引っ越しも終わり3月2日のオープンに向けて、準備が慌ただしく進められているところです。

今回は、新しい天文台の概要を写真で追いながら紹介したいと思います。



☆天文台全景（南西より見る）

構造は鉄筋コンクリート造。俗に言う”打ち放しコンクリート”仕上げです。この場所は文化庁の厳しい規制があり、皆さんの希望した銀色に輝くヴォールト屋根はついに実現しませんでした。しかし、熱線反射ガラス（ハーフミラーガラス）、アルミパンチングメタル、指向性ガラスブロック等の使用や、水平ライン、コーナー部のエッジラインを強調することで近未来を予感させるハイテクの天文台をイメージした外観になっています。



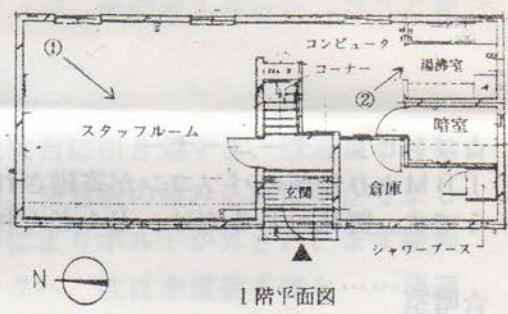
①

☆スタッフルーム

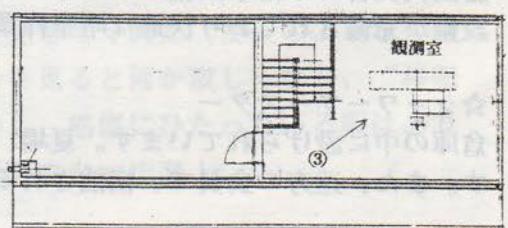
一見、「まだできとらん」のようなこの部屋。床のカーペット以外は、やはり打ち放しコンクリート仕上げです。広さは約20畳、みんなが“わ”になって、楽しい話し合いができる部屋を目指しています。照明もグンと明るくしました。機能的には観測室からの配管がなされており、近い将来望遠鏡からの映像をリアルタイムでスクリーンに映し出すことも可能です。昼間はプリズム内蔵のガラスブロックが外の光を優しく天井に映します。昼間の天文台もなかなかのものです。

☆エントランスホール

玄関の入り口に入ると、スポットライトでライトアップされたすてきなイラストが目に入ります。会員でイラストレーターでもある池永久美子さんの作品です。台長を取り巻く子供達がいきいきと描かれています。このコーナーでは、みなさんの作品を季節毎に展示したいとおもいます。天文台のミニギャラリーです。



1階平面図



2階平面図

☆湯沸室（厨房？）

藤山天文台の湯沸コーナーが昇格して、独立した一つの部屋になりました。今回の魅力は何と言ってもワンタッチでお湯が出ること。（筆者ウラヤマシイ）寒い日の洗い物はずっと楽になるハズ。藤山天文台で、数々のごちそうを作っていたいた国吉さんや安達さん、ここではさらにおいしい手料理が味わえるだろうとみんなの期待が高まっています。貴女も一度、ここで腕を振るってみてはいかがですか。



②

☆コンピューターコーナー

IBMより最新のパソコンが寄贈され、画像処理、天文計算等に威力を発揮しそうです。興味のある方は、どんどん利用してください。

☆暗室

藤山天文台では給水設備がありませんでしたが、この暗室は給水給湯設備、換気設備が完備されており快適な暗室作業ができると思います。

☆シャワーブースター

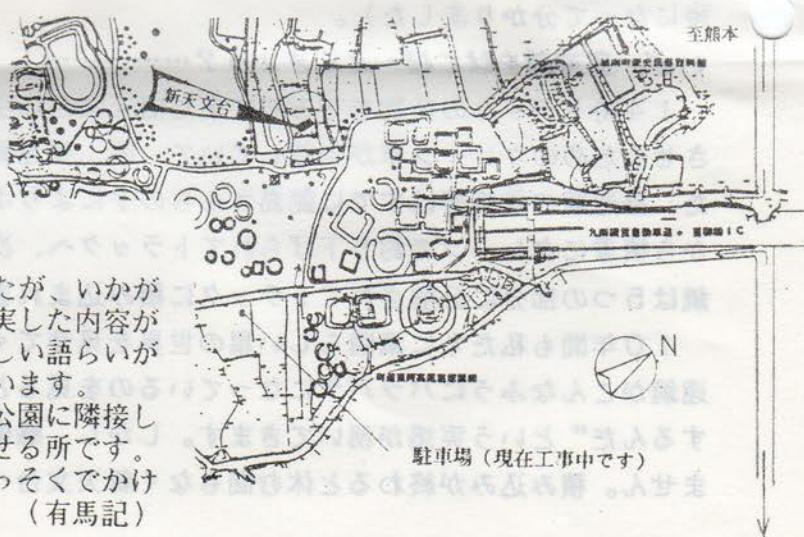
倉庫の中に設けられています。夏場、観測後にシャワーを浴びて、ひと眠り来ます。また、遠方の会員で、宿泊されるときにも利用していただけると思います。

☆観測室 2F

これから何万人、何十万人のお客さんが訪れるであろうメインルームです。藤山天文台より一回り広くなり30センチの望遠鏡が小さく感じられます。また内階段より直接2階へ上がれますので靴の履き替えをしなくてよく、管理も大変楽になりそうです。一般公開時にはパソコンも使用して、お客様解説者共、楽しんでもらおうと思っています。尚、スライディングルーフは電動式になっておりボタンひとつでスムーズに移動します。この装置は、会員の永井聰氏の考案製作によるもので完成までに大変な苦労をされました。皆さんに披露するとともに改めて感謝したいと思います。



(3)



以上、かいつまんで説明しましたが、いかがでしたか。建物は小さくても充実した内容がぎっしり詰まった、そして、楽しい語らいができる天文台になればと思っています。

ロケーション的にも広々とした公園に隣接しており、昼間はのんびりと過ごせる所です。ご家族、友人、知人を誘ってさっそくでかけてみませんか。

(有馬記)

附近見取図

至藤山天文台

さあ、引っ越しだ！……天文台最後の日

“1993年2月6日（土曜日）、私たちの天文台（藤山天文台）に最後の日がやってくる！”

前夜、私は“星屑”を読んで初めて引っ越しのことを知ったのである。

さあ、引っ越しだ！……………

2月6日、私が天文台に着いたのは、12時を少し過ぎた頃でした。その頃には、すでにロッカーや本、観測機材など荷造りが進み、新天文台への引っ越しが始まっていました。

引っ越しは旧天文台の中を片付けて荷造りする人、それを新天文台へ運ぶ人、そして新天文台で荷物を片づける人（片づけるといっても新天文台の本体はまだ内装等が済んでいなかったので、隣の倉庫の中へ運び入れただけであった）というように3つのグループに分かれた20名近い会員の手で進められていました。私は天文台に着くなり、引っ越しのプロと自称する“ひげの中島先生”運転のトラックへの荷物の積み込みを手伝わされ、新天文台へと向かいました。

すばらしい新天文台……………

新天文台は何度となく見に来てはいましたが、ブルーの青空にシルバーグレーのスライディングルーフが輝き、とても素晴らしい建物です。しばらく見とれていると、中島先生の「なんばしょっとてな、はよすっぱい」という声にいきなり現実に引き戻されてしまいました。

天文台の横の倉庫には作り付けの棚があり、“こりやいっぱい入るばい、楽勝楽勝”と思いながら荷物を運び込みました（が、その考えが甘かったことが後になって分かりました）。

いざ、望遠鏡をはこぼーえんきよう？……………

14時トラックの荷物を下ろしてまた旧天文台に引き返すと、望遠鏡を移動させるためのクレーン車が到着していて、即、望遠鏡の積み込みにかかりました。望遠鏡の鏡筒等はすでに艶島さんらの手によりボルトが外され、まず鏡筒から慎重にクレーンで釣り下げられてトラックへ、次は赤道儀本体と……望遠鏡は5つの部分に分解されてトラックに積み込まれました。

10年間も私たちに素晴らしい星の世界を見てくれた（友人のような）望遠鏡がこんなふうにバラバラになっているのを見ると何か寂しくなり、“移転するんだ”という実感が湧いてきます。しかし、感傷にひたったいる暇はありません。積み込みが終わると休む間もなく新天文台へ出発！

31回 望遠鏡、新天文台へ……小さく見える？

新天文台では到着するやいなや、すぐ設置にかかりました。望遠鏡はまたクレーン車で慎重に釣り上げられ新しい観測室へ。赤道儀の下のプレート、赤道儀、赤緯体、ウエイト、そして鏡筒と望遠鏡が組上がっていくのを見ているとさつきとは反対に“やっと新天文台に移ったんだ！これからもがんばらなければ”という気がしてきました。

やっと終わった大きな荷物の引っ越し…………



望遠鏡を設置した後、また再び荷物を取りに天文台へ、まだ半分近い荷物が残っていましたがみんなで力を合わせて運び、最後に残ったのが、みんながいちばん世話になり、ひょっとしたら天文台で一番大事？なもの、そう、冷蔵庫と台所用品でした。それらを運び終えたのは18時過ぎ、さすがに11年近くも活動してきた天文台、その荷物といったら大変な量で、倉庫はもうこれ以上入らないくらいにいっぱいになっていました。（あぶなかった…………）

腹減ったー！ささやかな最後の晩餐…………

18時半過ぎ、大きな荷物を新天文台へ運び終えみんな一安心、お弁当を買ってきて、荷物を運び出した後の天文台でささやかな“最後の晩餐”となりました。みんな新しい天文台への期待と旧天文台での思い出を語り合いながら、しばし憩いの一時を過ごしました。

皆さん、お疲れさまでした！

後日談

燃やせ、燃やせ…………

後で聞いた話では、艶島さんと中島先生は、引っ越しの翌日天文台に残ったゴミなどを一日中燃やしていたそうです。

縁と公園の中の天文台…………

2月11日、冷蔵庫や台所用品、その他一部の物を倉庫から出して新天文台へ搬入。

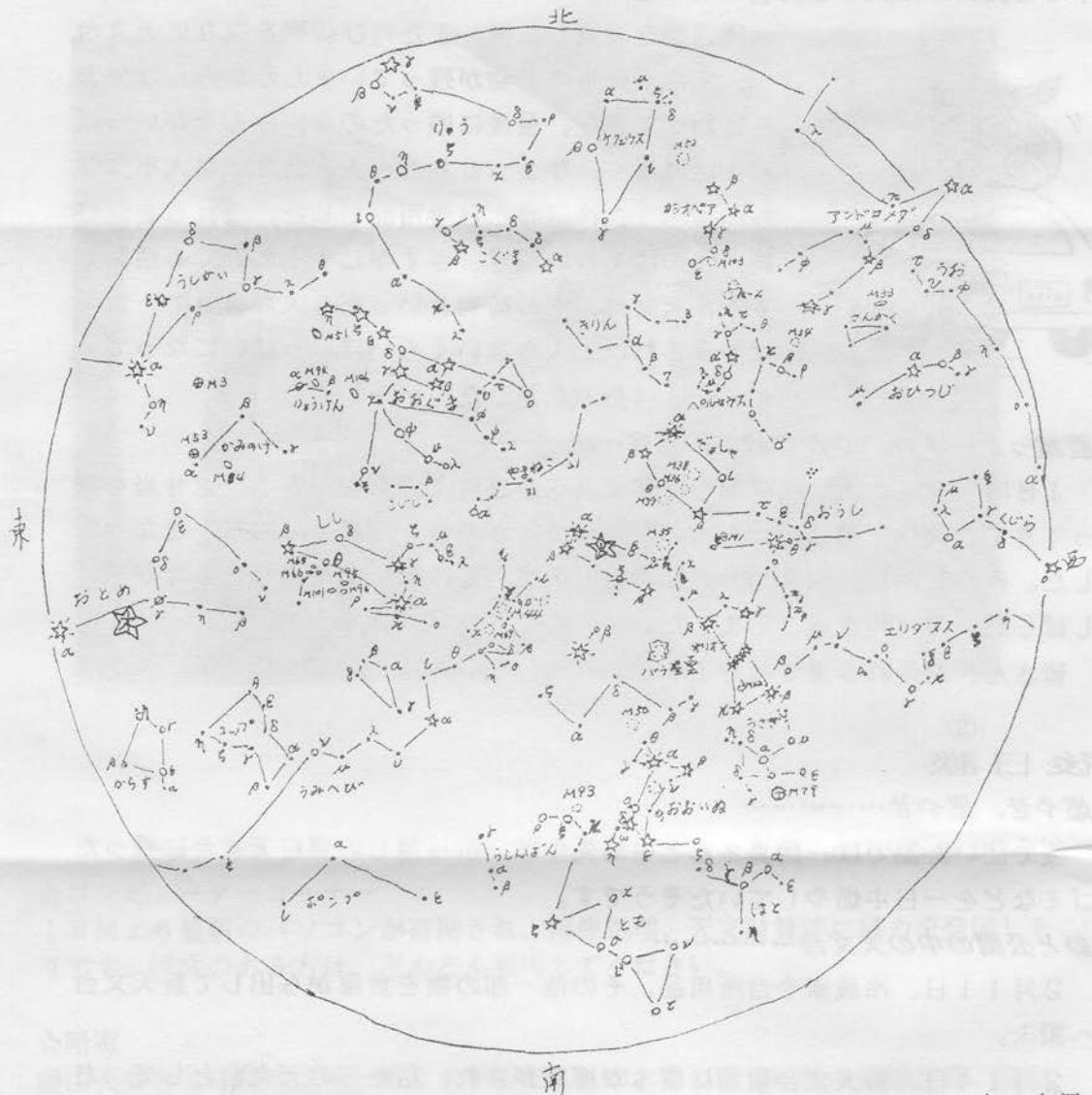
2月14日、新天文台敷地に樹木が植栽がされ、私たちの天文台として、だんだん温もりがかかるようになってきました。皆さんもどうぞおいでください。

by HN

Keikoの星空散歩

3月上旬 ☆ 午後9.00頃

3月下旬 ☆ 午後8.00頃



※ 1等星

☆ 2等星

3等星

4等星以下

○ 星雲

□ 系外星雲

△ 散開星団

◆ 線状星団

★ 重星

水…水星

金…金星

火…火星

木…木星

土…土星

3月の見所 (+ 2月号)

星雲 … 1個の星では無く、ガスや沢山の星が集まってボーッと見える物。

…このあたりは、やん…サリする程、沢山あって、正直に言うと、望遠鏡を向けるのがコワイ！

M51 … りょうけん座にある有名な子持星雲。



M63, M94, M106 … りょうけん座にある系外星雲です。



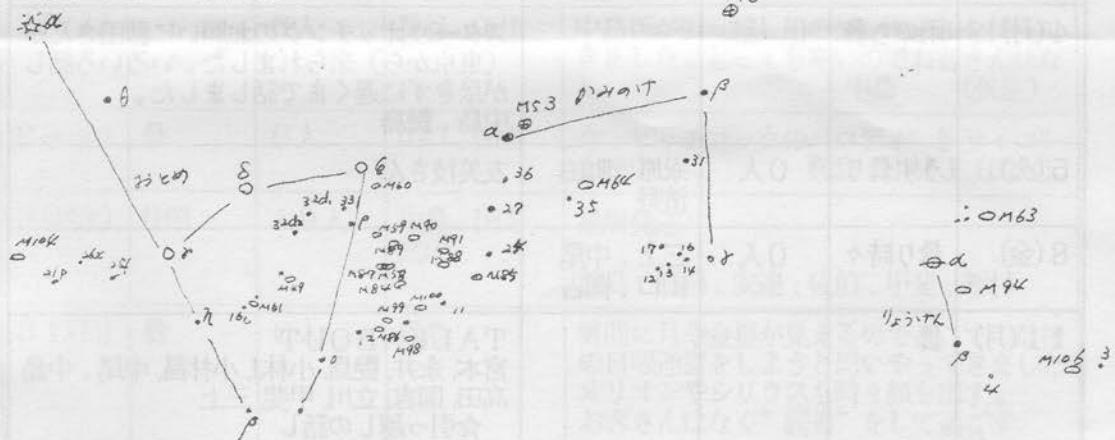
M64, M85, M88, M98, M99, M100 … この辺はかみのけ座に在る系外星雲です。



M49, M58, M59, M60, M84, M86, M87, M89, M90 … おとめ座の系外星雲です。

M104 … 有名なソンブレロ星雲です。

M3



星団 … バラバラと星の散らばった散開星団とボール状に星が集まつた状星団が有る。

M3 … りょうけん座に在る球状星団。6等もの明るさが有るので双眼鏡でも見何ります。

M53 … かみのけ座のα星の近くに在る、球状星団。

重星 … 目で見ると1個、しかし、双眼鏡や望遠鏡で見ると幾つかに別れて見えます。
見掛け上の重星と、お互いに引き合っている連星が有ります。

りょうけん座α星 … 明るい星の無いりょうけん座の、只1個の3等星コル・カロリ。
白い主星のおまけに赤っぽい伴星がポツチリと付いてます。

おとめ座γ星 … 眼のように見える同じ明るさ、同じ色の二重星です。

おとめ座δ星 … 4.4等と8.6等の重星に10等の伴星がずっと離れている、3重星です。

【1月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 15日/31日=48%

来台数 28名

日付	天気	来客数	担当運営委員	
3(日)				上通り 山本屋食堂2階大座敷にて 宮本、西岡鐵夫、菊子、永井(剛)、甲斐、高田 渡邊知史、渡辺、安達、山内、国吉、宇野 松野、池永、艶島、中島、西嶋、小林昌樹 中尾、永原、上塙、小林J 会計の余り￥6000は天文台に寄付 幹事 高田
4(月)	雨のち曇			スター ウオッチングのお願いに藪田さんが (東京から) 来られました。いろいろ話しが 尽きずに遅くまで話しました。 中島、艶島
5(火)	うす曇り	0人	永原、町田 濱野	友美枝さん
8(金)	曇り時々	0人	三上、中尾 山口、国吉	
11(月)	曇			TALKABOUT 宮本、永井、艶島、小林J、小林昌、中尾、中島 高田、国吉、立川、甲斐、三上 ☆引っ越しの話し ☆天文台事務局の話し (高田)
16(土)	晴のち曇		守岡、高田	艶島、国吉、松野
18(月)	曇			借用した毛布の返却に来る ギョ！コタツが明るい！！ 丸2日間つけ放しだったのか 火事になら ずに良かった 皆さん後始末に御注意 くらはい (小林J)
20(水)	曇		立川	日曜日(17日) 2階の観測室入口ドアを 破ろうとした”人達”がいた あと3週間程を残すだけなんだけど侵入さ れて望遠鏡を傷つけられて困るので中島 君と2人で補強工事！！ 寒い！ そういえば今日は「大寒」艶島中島
21(木)	晴	6名	宮本	金星、三日月、火星、アンドロメダM31、オリオンM42 大犬M41
22(金)	晴時々曇	3名	三上、中尾 山口、高田 国吉	金星、火星、M42、M78、M44、M41、M1、h-X

23(土)	曇			福江市鬼岳天文台より光永さん来台 友の会、施設拡充、予算、人材の確保 イベント、役所の壁など。どこでも真面目 にやっている所ほど悩みは深い でも1年半前に初めて天文の道に足をふみ いれたとのことで、現在の活躍ぶりには頭 がさがりました。 宮本、小林J、中島 (中島)
26(火)	晴時々曇	*	町田 オイ～！ オイ～！ ちよちよ～!!!!	大きな流水屋が 見ました。
28(木)		0人	長谷、矢住	中島氏が引っ越し用のダンボールを持って きました。とっても寒いでお客さんはなし 中島 (矢住)
29(金)	曇	0人	山口、国吉	今、ヒッチコックのパロディ"新サイコ" 上映中！ 艶島、小林J (国吉)
30(土)	快晴	19人	中島、国吉 高田	星屑発送 艶島、西嶋、安達、佐伯、甲斐、新村
31(日)	曇	0人	艶島	雲間に月や金星が見えるのでここでの最後 の日曜運営をしようと思いました オリオンやシリウスも時々顔を出す。 お客様はなく"読書"をして過ごす

平成二年二月一日 晴天

平成5年(1993年)2月7日 日曜日

(18)



熊本日日新聞に、天文台
の引っ越しのことが、記
事になりました。手前の方
がおなじみ、艶島氏、
奥が安達さん、私もて
つだっていたのに～。



雪がとけて川になって流れています。つくしの子がはずかしげに顔を出します。と歌ってる場合じゃない。春一番のなか、天文台の引っ越しがありました。ボカボカ陽気で2月とは思えないほど暖かく（動いていると暑かった）引っ越しに良い一日でした。31cm本体を、鏡筒と赤道儀に分解したときなど、おっお～も～い～、と思ったのですが、クレーン車がやってきて、ひょいっ、と持ち上げてしまったときは、「ん～む」と唸ってしまいました。昔は人力で持ち上げたとか……。何回も藤山と塚原を往復して、大物の引っ越しが終わったときには、流れる雲の間から金星が見え隠れしていました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
原稿締め切りまえに、関西の会員の方からお手紙がありました。宛名シールが変わったことや、表紙のキティちゃんが、天文台のウサギにかわったことなどなど、たくさんのご意見有難うございました。これからもより良い会誌にしていきたいと思いますので、お手紙、宜しくお願ひします。いつも天文台にやってくるメンバーばかりの意見では、マンネリ化してしまいますので……。みなさんのご意見、感想をおまちしております。

さて今月の表紙、いかがでしたでしょうか。8人（？）の登場人物と番組（本）をすべて答えられるでしょうか？。表紙をいただいたときにいきなり☆☆☆☆☆☆、と答えてしまった私は、おたくでしょうか。正解を知りたい方は、新天文台の金曜日へ。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1993年3月号 通巻216号
発行所 熊本県民天文台 〒861-41 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号

熊本市立熊本博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

担当 中尾 富作